

名高同窓会報

発行所 名寄市徳田204番地1

北海道名寄高等学校同窓会事務局

TEL: 01654-3-6842 FAX: 01654-3-6841

発行人 会長 梅野 博(名高16期)

ご挨拶

北海道名寄高等学校長 今中 勇希

4月に北海道教育庁高校教育課から着任しました今中でございます。

名寄高等学校同窓会には、日頃から本校の教育活動に對しまして、御理解と御協力、さらには多大なる御支援を賜り心から感謝申し上げます。



実は、私も本校の同窓生(45期生)であります。母校で勤務できることを大変嬉しく思うとともに、校長という職の重さに身の引き締まる思いです。

ご承知のとおり本校は、令和5年度に名寄高校と名寄産業高校が再編・統合し、普通科と情報技術科(工業)を併置する新名寄高校となりました。新名寄高校は単位制のため、生徒が選択できる授業が多くなることから、本校舎の教室を増設するとともに、新たに設置した情報技術科の実習棟を校舎北側に増築しています。実習棟は、本校舎と2階渡り廊下でつながり、情報技術科や家庭科等で使用する11の教室が整備されています。明るく環境にやさしい設計となっており、今か今かと完成を待ち望んでいるところです。10月頃完成し、1月から授業で使い始める予定です。完成した際は、是非、同窓会の会員の皆様にもご覧いただきたいと思っております。

さて、今年度は12クラス・366名(1年生:5クラス・138名、2年生:4クラス・128名、3年生:3クラス・100名)で新学期をスタートしました。生徒たちは、明るく朗らかで、勉強・部活動・学校行事など全てのことに全力で取り組んでいます。生徒の姿を見ていると、いつの時代も変わることのない「名高生」らしさがこの学校や地域に根付いているのを感じています。生徒を取り巻く環境で、私としては一つ残念に思っていることがあります。それは、あの伝統の

制服が現3年生をもって見納めとなることです。あまりにも長く伝統の制服を継承したため、今となっては逆に珍しいデザインとなってしまいましたが、青春時代の思い出のある男子の学ラン、女子のベストを見られなくなることに寂しさを覚えます。しかしながら、現1・2年生は、新名寄高校とともに始まったブレザーの制服がお気に入りのようです。夏はポロシャツと組み合わせることができ、とても爽やかに見えます。見慣れると、こちらもとても素敵な制服です。本校のホームページ等で生徒の制服姿を是非ご覧ください。

今年度、上半期には様々なことがありました。いくつかご紹介します。

4月早々に校舎近くの名寄高校駅(令和4年3月完成)周辺に熊が出没し、全国ニュースとなりました。名寄市や名寄警察署の迅速な対応により、熊はすぐに捕獲され、生徒への被害はありませんでした。名寄市では日進地区付近で熊の出没が相次いでいますが、本校周辺の徳田地区でも今後は警戒が必要となっています。

5月には高体連名寄支部大会が開かれました。男子卓球部、女子ソフトテニス部、男子バドミントン部が団体優勝しました。また、個人でも卓球部、男女ソフトテニス部、男女バドミントン部、剣道部、陸上競技部の生徒が全道大会への切符を獲得し、まさに文武両道に励む本校にふさわしい結果をもたらしました。昨今の部活動で特筆すべきは、新聞局が23年連続で全国総合文化祭に出場するほか、昨年度、吹奏楽部がB編成の北海道代表となり、東日本学校吹奏楽大会に出場しました。運動部、文化部いずれの部活もよく努力し、輝かしい成績を収めています。

6月には「総合的な探究の時間」の校内プレゼンテーション大会を行いました。3年生が1年生の夏から約2年かけて取り組んだ研究の成果を全校生徒の前で発表しました。変化の激しい社会において、多様な課題が生じている今日では、これまでの文系・理系

といった枠にとらわれずに各教科・科目等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められています。

「総合的な探究の時間」では、教科・科目等横断的な学習や探究のプロセスの充実を図ることなどが期待されています。本校では、3年間を見通した系統的な学習プログラムを作成し、きめ細かな対応により、生徒の資質・能力の育成を図っております。これらの実践は、教育専門誌に掲載されるなど、注目を集めており、本校の新たな強みとなっています。

7月の名高祭では、恒例の行灯が12基並び、名寄市内を練り歩きました。生徒のかけ声が市内に響く様子はまさに名寄の風物詩。今年も多く市民に見守られ全基が無事に学校へ戻ることができました。近年の行灯は、壁画調のステンドの完成度が高く、準備に膨大な時間を費やしていることが見て分かります。恐らく、名高祭直前は、学校だけではなく、家庭においても寝る間を惜しんで作業に取り組んだことと思います。このあたりは、昔と変わらないかもしれません。行灯の光は、ろうそくから電球、電灯と移り変わり、ステンド主流の現在は、より美しさを際立たせるためにLED電球への変更を検討したいところです。

このように、生徒たちは学校生活をとおして、様々なことに挑戦し、自らの資質・能力に磨きをかけております。その結果、生徒の進路状況ですが、進学に強い「名高」は今も健在で、昨年度の卒業生は76名と少ない中、31名が国公立大学に合格しました。このことは北海道新聞に大きく取り上げられ、多くの方から賞賛の言葉をいただいたところです。また、近年は、公務員を志望する生徒が増えており、昨年度は名寄市役所（3名）や美深町役場、北海道職員（2名）、国家公務員Ⅲ種（3名）に合格するなど、名寄市をはじめ各自治体を支える人材を輩出しております。

おわりになりますが、次年度から本校は名寄市内唯一の高校となります。今後、この地域の未来を考えると、本校の果たす役割は今以上に大きくなると認識しております。現行学習指導要領の中に「社会に開

かれた教育課程」というキーワードがあり、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有することや、地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現することが重要とされています。「社会に開かれた教育課程」の実現には、「名高」を卒業し地域を支えている方々や、この地域を離れても「名高」に思いを馳せていただける方々とのつながりが何より大切と思っております。同窓会の皆様には、今後とも温かなご支援とご教示、叱咤激励を賜れば幸いです。

部活動報告

新校舎「実習棟」の 建設現場見学報告

新聞局局員 1年E組 鈴木 亜実

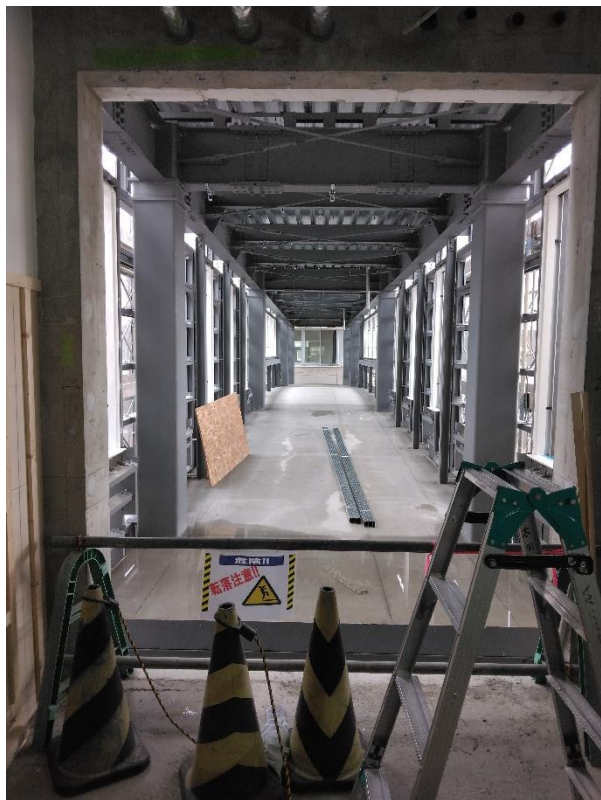
7月30日、新校舎である「実習棟」の建設現場公開が行われました。この現場公開は主に教職員に向けて実施されましたが、特別に私たち新聞局員も取材が許可され工事現場を見学することができたので、その様子をお伝えします。

はじめに1階から見学しました。入り口を抜けすぐに私たちの目を引いたのは情報技術科の作業室。まだ壁は無く柱がむき出しでしたが、内部には作業台が完成し、有用性の高い教室になる見込みです。





次に向かったのは2階の渡り廊下と新教室です。渡り廊下は既存の校舎とつながりつつあり、骨組みが美しい放物線を描き完成の近づきを見せていました。



2階の新教室には、人の身長を優に超える可動式の間仕切りが取り付けられた部屋も公開されました。この教室は情報技術科だけでなく、普通科の講義室としても幅広く使用することが可能です。

工夫や使いやすさや快適さで魅力溢れる実習棟ですが、この建造物最大の特徴は「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）」というカーボンニュートラルを目指す建物だという点です。工事関係

者は「快適な室内環境を実現しながら、消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにする。そのため、講義室全部屋にクーラーを設置できた」と熱心に説明してくれました。実習棟完成を待つ先生方や取材陣の期待とともに、見学会を終えました。



今回の見学会を終え、情報技術科長・藤村洋之先生にインタビューしました。藤村先生から「現在の校舎に情報技術科の教室は1か所のみ。場所も予算もかなり限られており、とても厳しい状態が続いている。貴重な作業台がひとつしかなく大変で、授業の見通しを立てることが難しかった。実習棟の完成を本当に心待ちにしている」と胸の内を明かしてくれました。

一緒に取材した情報技術科・広田須王さん(1C)は「これからの授業が楽しみ。全教室にクーラーが設備されるので、夏も快適に過ごせそう。情報技術科として大切に利用したい」と顔をほころばせていました。

今回の見学会を企画した後藤裕志事務長は「先生方からの要望もあり、見学の機会を設けることができた。まもなく完成となるが、情報技術科も普通科も、学科関係なく綺麗な校舎を大切に使って欲しい」と語っていました。

なお、実習棟は11月末に完成し、実際に利用するのは来年の1月を予定しているとのこと。

4年ぶりに懇親会を実施

令和5年度名寄高校同窓会総会・懇親会が去る令和5年10月13日(金)、グランドホテル藤花にて約100名の参加をいただき実施しました。総会では、令和4年度同窓会会計及び事業積立金決算報告、監査報告、令和4年度会務報告及び令和5年度年間行事計画、同窓会会計予算審議、本部役員改選等について審議をし、すべての議案が承認されました。

コロナ禍の中しばらく中止となっていた懇親会ですが、4年ぶりに実施する運びとなり盛会のうち終了しました。当番幹事の名高36・46・56期の皆さまをはじめ関係された方々に厚くお礼申し上げます。

同窓会報58号の原稿募集

令和7年10月発行予定の同窓会報58号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、同窓生個人、旧職員の原稿や支部だより、同期会だよりなどがあります。寄稿先は事務局(名寄高校内)佐久間までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでも構いません。写真は使用後に返却いたします。

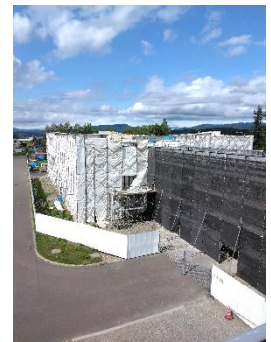
今後も、同期だよりや同窓生の活躍状況などを積極的に掲載させていただこうと考えておりますので、ご協力よろしくお願いします。

令和6年度卒業生 進路別合格者数(延べ数)

北海道名寄高等学校 進路指導部

区分	学 校 名	合 格 者 数				区分	学 校 名	合 格 者 数			
		男	女	過年度	合計			男	女	過年度	合計
公立	北海道大学	1		1	2	私立短大	北星学園大学短期大学部		1		
	北海道教育大学札幌校	1			1		武蔵女子短期大学		1		
	北海道教育大学岩見沢校		2		2		北翔大学短期大学部		1		
	北海道教育大学函館校		1		1		國學院大學北海道短期大学部		1		
	室蘭工業大学	2			2		小 計	0	4	0	4
公立	北見工業大学	1	1		2	看護系学校	北海道立旭川高等看護学院		1		1
	岩手大学	1			1		深川市立高等看護学院		2		2
	新潟大学	1			1		富良野看護専門学校	1			1
	宇都宮大学	1			1		苫小牧看護専門学校		1		1
	高知大学	1			1		北海道立紋別高等看護学院		1		1
公立	札幌市立大学		1		1	専修学校	小 計	1	5	0	6
	千歳科学技術大学	2			2		経専北海道どうぶつ専門学校		1		1
	釧路公立大学	4	2		6		経専調理製菓専門学校	1			1
	旭川市立大学	1			1		札幌医療リハビリ専門学校		1		1
	名寄市立大学	2	5		7		札幌マンガ・アニメ&声優専門学校	1			1
私立	高知工科大学	1			1	専修学校	札幌スイーツ&カフェ専門学校		1		1
	小 計	19	12	1	32		札幌スポーツ&メディカル専門学校	1			1
	北海学園大学	18	9		27		札幌どうぶつ専門学校		1		1
	北星学園大学	3	3		6		札幌ビューティーアート専門学校	1			1
	札幌学院大学	3			3	公務員	札幌医学技術福祉歯科専門学校		1		1
	札幌大学	3			3		北海道旭川高等技術専門学校		1		1
	藤女子大学		1		1		旭川歯科学院専門学校		1		1
	北海道科学大学	12	4		16		東京福祉専門学校		1		1
	北海道医療大学		1		1		日本工学院北海道専門学校		1		1
私立	日本医療大学		2		2	公務員	小 計	2	11	0	13
	札幌国際大学		1		1		国家公務員Ⅲ種	1	2		3
	北海商科大学		1		1		北海道警察	1			1
	星槎道都大学	1			1		北海道職員		2		2
	北海道文教大学	1			1		名寄市職員		3		3
公立	東海大学札幌		1		1	民間就職	美深町職員		1		1
	日本赤十字北海道看護大学		1		1		海上自衛隊航空学生	1			1
	札幌保健医療大学		1		1		陸上自衛隊一般曹候補生	2			2
	北海道情報大学	1			1		陸上自衛隊自衛官候補生	2			2
	小 計	42	25	0	67		株式会社デンコードー		1		1
公立短大	中央大学	1			1	民間就職	北海道旅客鉄道株式会社		1		1
	大東文化大学	1			1		小 計	7	10	0	17
	小 計	2	0	0	2						
	旭川市立大学短期大学部		2		2						
	小 計	0	2	0	2						

※令和6年3月28日(金)判明分



〈後書〉

今年も同窓会報の発行にあたり、多くの方々のご協力を賜りありがとうございました。若い世代の同期会開催の報告や総会・懇親会の参加も大歓迎です。よろしくお願いします。

題字：宗形 梨菜(72期)